

令和4年度 北見カトリック学園 紋別藤幼稚園 学校評価

1. 教育目標

- ・ 建学の精神でもあるイエス・キリストの心に倣い、神様を信じ、お互いに助け合い、人への思いやりの心を持つことを日々の生活の中で体験し、神様への感謝を忘れない子に育てていく。
- ・ 自然との関わりを積極的に持ち、素直な心で自然の恵みに気づき、感謝をし、全てのものを大切にすることを養っていく。
- ・ 今、ここにいる自分を創造して下さった神様に感謝し、与えられた諸能力を十分に発揮して、心身の調和のとれた子に育てていく。

2. 教育目標達成に向けての令和5年度の重点

- ・ 子ども達一人ひとりの心の動きを大切に見守り、周りの人達との関わりから体験する色々な出来事を通して、人の痛みや喜びが感じられ、お互いに分かち合える子に育てる。
- ・ 恵まれた自然環境に触れ、その恵みに感謝しながら、地球上に起こっている様々な出来事に関心を持たせていく。
- ・ 発達段階に応じた自立を助け、必要な習慣や能力、意欲を養い、健全な心身の発達を図る。

3. 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	3.6	職員全体で教育内容や学園の経営教育方針をしっかりと読み合い共有し話し合う時間を取ることが必要
保育の充実と園児との関わり	3.5	子どもたちを大切にし、幼児一人一人の成長発達に則した援助を行う努力はしたが、クラス人数が多いためきめ細やかな援助には十分には至っているとは言えない。
安全管理	3.8	園児の安全管理には充分注意を喚起し、大きな事故や園児のけがはなかったが、コロナ感染のリスクに対して反省点もしっかり出し合い今後活かせるようなガイドラインを作成した。
地域の幼児教育機関としての役割	3	積極的に未就園児教室など地域の子育て支援もに取り組みたかったが、実施スペースの確保やコロナ感染に苦慮した。
教員の資質・能力向上	3.2	各種研修会に積極的に参加したが、園内での保育交流が十分できなかった。自らの保育・幼児観を今以上に高める意欲が必要。
保護者との連携	3.8	連絡帳、クラス便り、電話、個人懇談などでのこまめな話し合いを通し、保護者との連携を密にし、信頼関係を築くよう努めた。また、コドモンの導入により保護者との連携は取りやすくなった。

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 令和4年度の総評

結果	理由
3.4	<ul style="list-style-type: none">○ コロナ感染症のリスク回避のためなかなか地域の子育て支援や地域に根ざした活動ができなかった。○ 保育教諭が不足しているため研修活動や職員同士の学び合いの時間をなかなか持つ事が出来なかった。しかしzoomでの研修などに積極的に参加することはできていたので、その学びを職員で分かち合い討議をする時間の確保が課題と感じる。○ 今年度から登園管理システム「コドモン」の導入により、事務作業や園児の登園管理を全職員で共有しやすくなった。また、問題点もあるのでこれからもルール作りが必要である。

5. 来年度に向けての課題

- ・ コロナ感染による規制などがゆるくなっていくと思われるが、あらたな行事の持ち方や他の感染症についてのリスク管理なども再検討していく。
- ・ 職員の確保
- ・ 職員がしっかり問題意識や自身の課題を捉え、園全体の保育の質の向上に努める。